

(様式5)

令和2年度学校運営協議会委員評価報告書

学 校 名 湯梨浜町立泊小学校

校 長 名 栗原 歳盛 印

評価日 令和3年2月25日(木)	
評価・提言	学校の所見・改善策等
○研究の取り組みや落ち着いて学習している様子は評価としては高い。 ○学力検査の結果では昨年と単純比較はできないが、課題も明確になっているので取り組んでいってほしい。研究教科でない算数の方が国語より昨年より差が大きくなっている。以前算数の研究により授業づくりを進めていたことも参考に算数の授業作りも平行して進めてほしい。 ○学校での楽しい生活への児童の気持ちを高めるために、また児童の体力増進の面でも「学園の森」の活用の工夫を検討し進めていくのはどうか。 ○児童同士の突発的なトラブルはあると思うが、重大ないじめにつながる事例を注意深く捉え、なくしていってほしい。 ○コロナの影響で活動が制限、削減等あったと思うが、工夫して取り組まれている。 ○公民館泊分館への施設見学もあり、たいへんうれしかった。泊地域は小さなコミュニティーなので、今後もさらに連携について工夫点を話し合いながら取り組んでいけると思う。 ○今後もできる限り地域とのふれあい活動を多くしてほしい。	○児童は学習全般によく努力している。復習や点検をしながら基礎・基本の力を身につけているところであるが、学力検査の結果、課題も見えている。新学習指導要領の学力観を再確認し、「記述式問題に、条件に合わせてきちんと書く」、「粘り強く、いろいろな資料を照らし合わせて考える」等今後の泊小学校の課題として取り組んでいきたい。 ○本年度の国語科の研究のまとめの際も校内で確認したが、算数科の研究の成果も取り入れながら授業改善に取り組んでいくこととしている。国語研究を進めていくことが、算数の学力アップにつながるということで国語科の重要性を感じて国語研究を始めた流れを再確認して進めていきたい。 ○仲間作りを中核に据えて人権学習に取り組んだ。学級の課題を教材科して話し合うなど人権教育を進めた。 ○学園の森の活用について、校内で柵の位置の変更や指導事項について再検討し進めていきたい。 ○コロナに配慮しながらも、地域の素材、人材との関わりを大切にしていける。あらたな学習への関わり等もさらに工夫していきたい。 ○児童の課題を共有し、「あいさつ」「言葉遣い」「よりよいコミュニケーションの力」を交流活動の中で地域とともに伸ばしていく。